

ものづくりでつなぐ 地域と高校生の未来

建築大工をはじめ、ものづくりの技能習得に取り組む「高知工業高等学校建築科」の生徒たち。3年次には課題研究の授業を通して、それぞれが関心を持ったテーマにも取り組んでおり、公園などでの四阿（あずまや）の建設や神社の修復、よさこい祭りの地方車製作など、地域と関わる活動を行っている。中でも、WPL（Workshop Promotion Laboratory）という班では、木材加工の出前授業などを通じて、地元の人たちや子どもたちと交流しながら、地域の文化について学ぶ機会も大切にしている。実際に使われるものを自分たちの手で製作し、地域の人に喜んでもらえる経験は、生徒



たちにとって進路を考えるきっかけや、今後の人生の励みにもなっている。

来てみ

食べてみ

高知県 高校生の ジモト自慢!

今月は

高知市 工作教室



ものづくりを学びながら、地域貢献にも取り組んでいる高知工業高等学校建築科の生徒たち。今回は、さらに工作教室や出前授業などに取り組んでいる「WPL班」の皆さんに、ものづくりを学ぶ生徒ならではの「ジモト自慢」を聞いてみました。

高知工業高等学校 建築科 WPL班 のジモト自慢

高知の木材は温かみがあつて加工もしやすくて丈夫!



3年生 小松礼恩さん

良質な高知県産木材!

須崎市安和にのみ自生する日本唯一の竹!



3年生 越明奈さん

美しい模様の「虎斑竹」!

高知市の宗安寺は自然豊か。鏡川での川遊びも楽しい!



3年生 山崎幸花さん

自然豊かな「宗安寺」